



General mindをもった
Specialistを目指す

Kyoto Chubu Medical Center
京都中部総合医療センター



なぜ今、 General mindをもったSpecialistを目指すのか？

皆さんがキャリア形成の間に、勤務する医療機関の規模や取り巻く環境は、刻々と変化し、その中で果たすべき役割を変えていくことが求められます。

今後の皆さんを支えるのは、臓器別専門医になっても総合医的視点を持つ力であり、この力を備えた医師を“**General mindをもったSpecialist**”と当院は考えています。

勤務する医療機関の規模や取り巻く環境は 具体的にはどのように、変化するのか？

医療機関の規模の例

- 大学病院クラス
- 地域中核病院
- 小規模医療機関

など

取り巻く環境の例

- 新専門医制度の開始
- COVID-19感染拡大に伴う全国的な診療体制の変化
- 私生活の変化

当院のような地域中核病院では

消化器内科医



心電図で
ST上昇あり



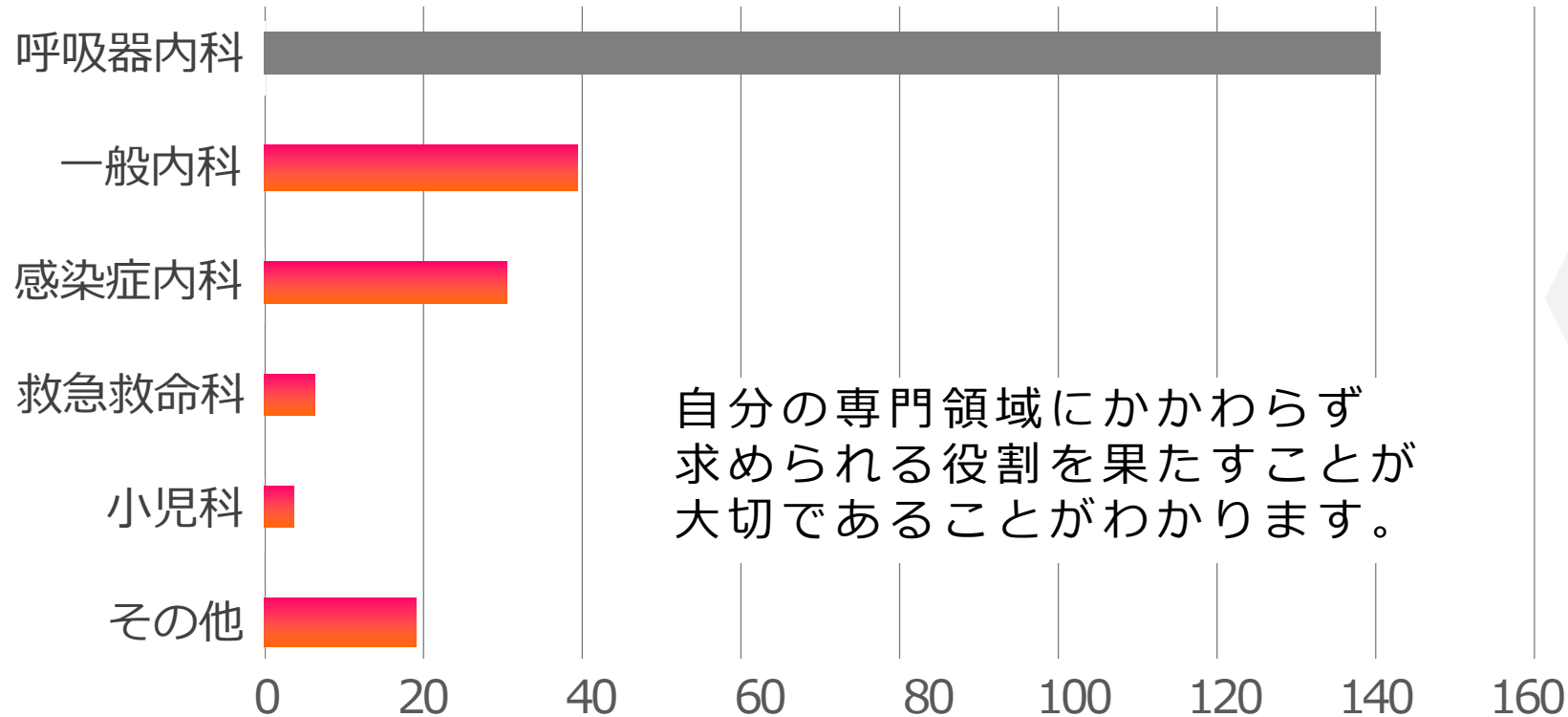
循環器内科医
へ連絡！

自分の得意な症状だけが来るとは限らない。
自分の得意な症状でも得意な病気とは限らない。

自分の専門領域にかかわらず、
初期対応しなければならないことが多く
専門領域外の病態に対しても、
対応可能な医師・医療機関と連携しながら
自ら対応する、総合医としての役割を
果たすことが求められます。

COVID-19対応の主な診療科は？

軽症例の主な対応診療科（175施設回答）



自分の専門領域にかかわらず
求められる役割を果たすことが
大切であることがわかります。

日本呼吸器学会感染症・結核学術部会
COVID-19診療に関するアンケート調査結果報告書
2021年3月16日作成
回答期間：2021年1月28日～2月28日

当院でも呼吸器内科を中心にすべての診療科が協力して対応しています。

当院の研修医の先生に期待すること

General mindをもった**Specialist**を目指し、将来、変化する環境の中で、**あるときは臓器別専門医、あるときは総合医として**、自分に求められる役割を理解し、果たせる医師へ成長してほしいと考えています。

そのために当院が用意している研修プログラムの6つのポイントを紹介します。

6 points

- 1 多くの診療科で高度専門医療や救急医療を支え、各科の垣根が無く相談しやすい環境
- 2 研修医の間に経験すべき29症候、26疾病・病態を網羅
- 3 研修医の数が多すぎず少なすぎず一人一人に目が行き届く
- 4 自由度の高いオリジナルのローテーション
- 5 EPOC2による360度評価で一人一人の成長を支援
- 6 基礎力を養う勉強会とカンファレンス

1

多くの診療科で高度専門的医療や救急医療を支え 各科の垣根が無く相談しやすい環境

常勤医師 74名 臨床研修指導医 29名

診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数
循環器内科	8	総合内科	2	小児外科	2	小児科	6	皮膚科	1
消化器内科	5	内分泌 糖尿病内科	2※	外科 消化器外科	5	産婦人科	3	病理診断科	1
呼吸器内科	3	血液内科	2※	脳神経外科	1	放射線科	2		
肝臓内科	1	呼吸器外科	1	耳鼻科	2	心臓血管外科	1※		
神経内科	2	乳腺外科	1	眼科	4	精神科	1		
腎臓内科	5	整形外科	7	泌尿器科	3	麻酔科	5		

※非常勤医師

多くの指導医や上級医から専門的医療についても学ぶことができます。
地域実習と精神科の2週間を除き、当院ですべての臨床研修を完結することができます。

2

急性期医療、救急医療を通して研修医の間に 経験すべき29症候、26疾病・病態を習得する

29症候

ショック、体重減少・るい痩、発疹、黄疸、
発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・
失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、
呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、
腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、
腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、
排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、
抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、
終末期の症候

26疾病・病態

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、
大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、
気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、急性胃腸炎、胃癌、
消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、
腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・
骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、
依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

E-Portfolio of Clinical training: EPOC2

オンライン臨床教育評価システム EPOC2を使用し一人一人の習得状況を
上級医も把握し、不足なく症例を経験してもらいます。

2.5次救急を担います

common diseaseから希少疾患を含む幅広い疾患を経験できます

救急患者
12,679名



2018年度

救急車
2,925台



ドクターヘリ
広域搬送体制



DMAT隊派遣
災害医療



上級医の指導のもと

問診

身体診察

検査の判断

診断

方針決定

患者説明

できることを少しずつ増やしていく

振り返り（朝・夕）

引き継ぎの時間帯に
指導医と症例の振り返る。



フォローカンファレンス

2週間に1回、再診症例やフィード
バックのあった症例を共有する。



3 研修医の数が多すぎず少なすぎず 一人一人に目が行き届く

研修医の人数が多すぎず，**手技の機会が多く**，上級医の指導のもと、
気管挿管や中心静脈カテーテルなどの**手技の習得ができる**。

現在の研修医は11名（たすき掛け1名含む）

2年目 5名 （京都府立医科大学、熊本大学）

1年目 6名 （京都府立医科大学、奈良県立医科大学、山口大学、和歌山県立医科大学）

過去5年間の研修医の出身大学（上記以外）

大阪医科大学，大阪市立大学，関西医科大学、兵庫医科大学，滋賀医科大学、
金沢医科大学、福井大学、浜松医科大学，聖マリアンナ医科大学，慶應義塾大学，
島根大学，信州大学，北里大学，産業医科大学，福岡大学，宮崎大学，大分大学，

4 自由度の高いオリジナルのローテーション

最初の24週間は内科でカルテ記載や身体診察などを含む、医師として基本的な診療技術を身につけます

1年目から自由選択期間があるため将来の志望診療科を、1年目で研修することができます

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(循環器, 呼吸器, 消化器, 神経, 腎臓の各診療科研修) と一般外来研修						救急			必修 or自由選択		
2年次	必修 or 自由選択			地域	必修 or 自由選択							

地域研修の川西診療所、京丹波町病院ともに公共交通機関で通勤可能範囲内にあり交通の便も心配がありません。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 次	内科(循環器, 呼吸器, 消化器, 神経, 腎臓の各診療科研修) と一般外来研修						救急			必修 or自由選択		
2 年 次	必修 or 自由選択			地域	必修 or 自由選択							

必修科目

内科 (合計24週間), 一般外来研修, 外科 (4週間),
小児科 (4週間), 産婦人科 (4週間)
救急 [内科, 外科, 整形外科, 小児科, 産婦人科,
など] (12週間)
地域医療 (川西診療所と京丹波町病院を各2週間),
精神科 (当院と福知会もみじヶ丘病院を各2週間)

自由選択科目

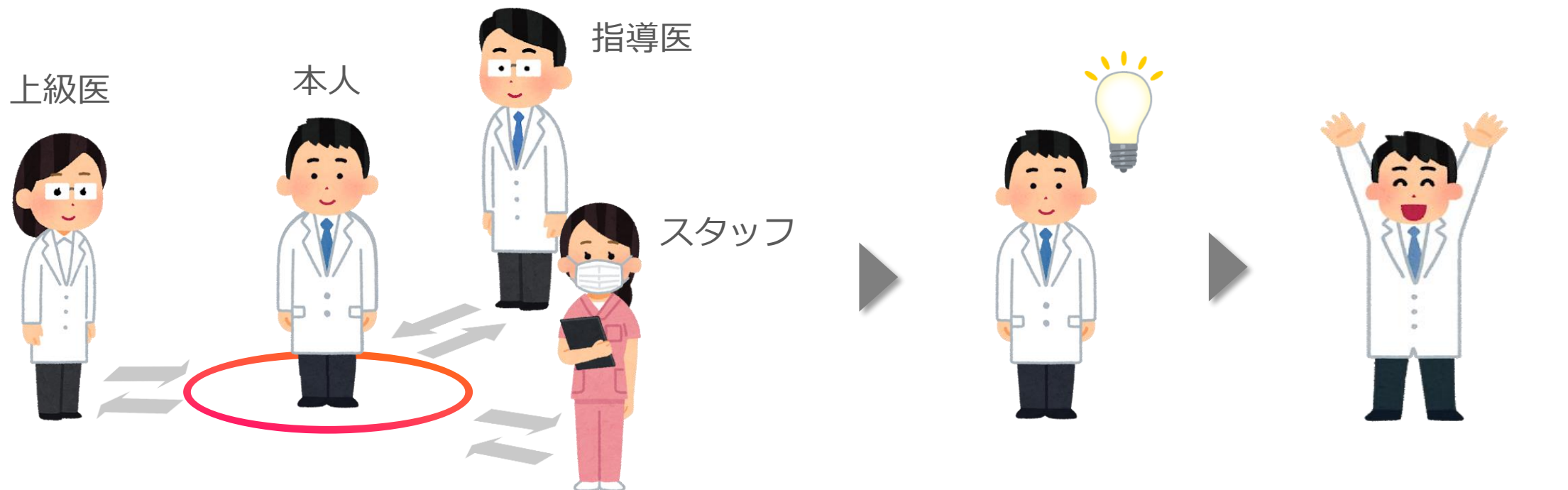
内科各診療科, 救急, 小児科, 産婦人科,
外科(呼吸器, 消化器, 乳腺, 小児), 整形外科,
泌尿器科, 麻酔科, **放射線科**, 精神科, 眼科,
耳鼻咽喉科, 皮膚科, 脳神経外科, **病理診断科**

研修診療科は直前の変更にも対応できますので、
志望科が途中で変わった場合も安心です。

5

オンライン臨床教育評価システム

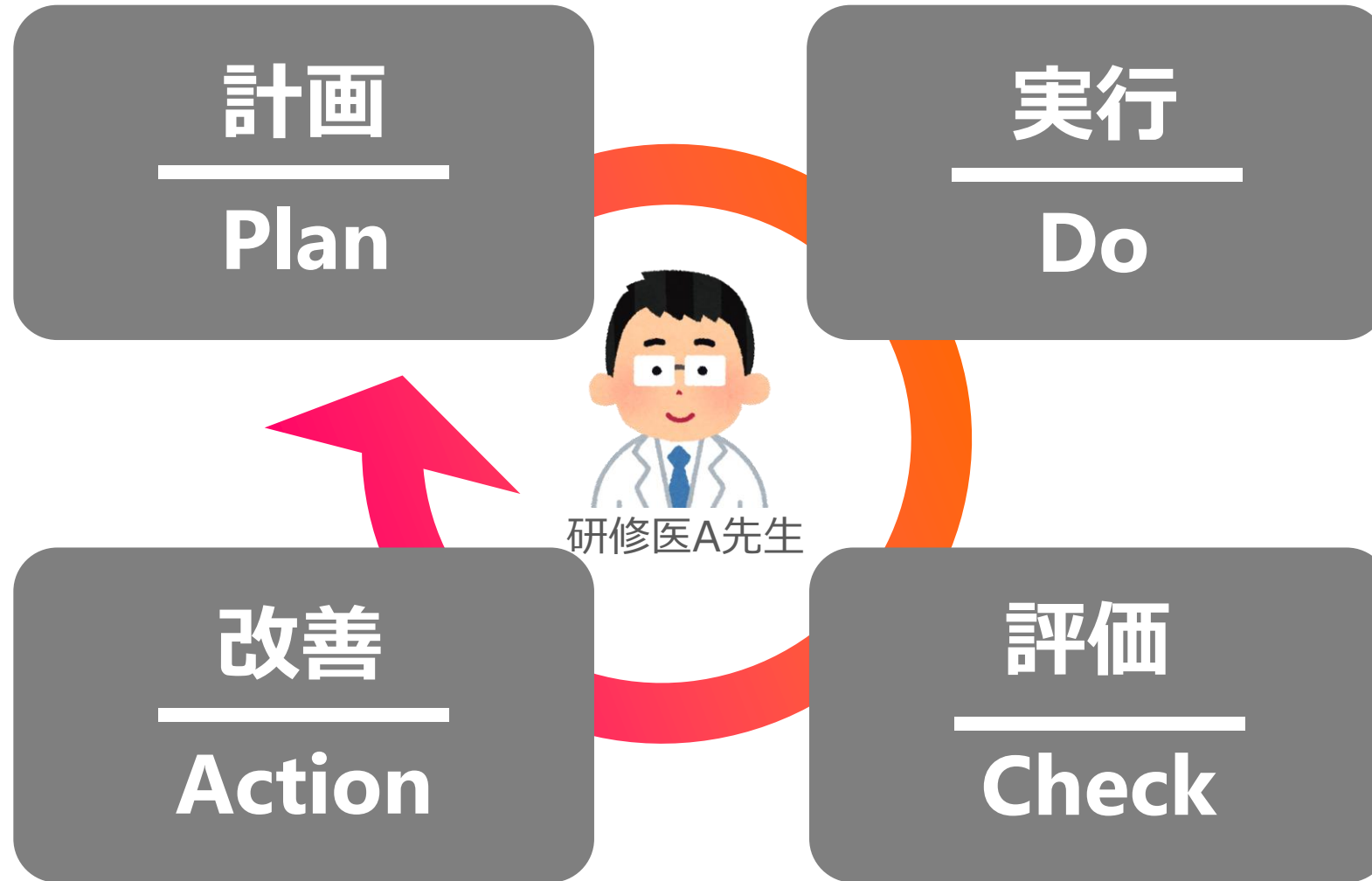
EPOC2による360度評価で一人一人の成長を支援



経験した症候、疾患、手技などについて
スマホやPCから自己評価を入力する。
進捗状況を指導医・上級医が把握でき、
医師・メディカルスタッフも評価する。

自己評価と
周囲からの評価の
ギャップに気づく。

行動変容へ
自分の意識が
変革する





研修医A先生

「腹痛」の苦手意識を減らす！

- 1 「腹痛に強くなる」系の本を熟読
- 2 ウィークリー研修医勉強会で発表
- 3 腹痛を訴える患者さんの初期対応を数多く行う



患者さん

一昨日前からお腹が痛いです。
ムカムカして今日は吐いてしまいました。
排便はあります。下痢はないです。



研修医A先生

腹痛と嘔気嘔吐で腸炎疑いか。
整腸剤を処方して、改善なければ再診指示。
でも下痢がなくて、腹部が膨満しているのが気になるな。
上級医に相談しよう！



上級医

たしかに腸炎以外にも考えられるね。
腹部手術歴はあったかな？

虫垂炎の手術歴あり。腹部CTで腸閉塞と診断しました。

その日の夕方の振り返りカンファレンスで



研修医 A 先生

腸閉塞の症例をEPOC2に入力しました。

もっと腹痛について勉強しないといけないなと反省しました。



上級医

確かに勉強も大事だけど、今回のような行き詰まりは、
知識不足だけが原因ともいえないよ。



研修医 A 先生

!?

Check



研修医A先生

正しい診断を行うためには、知識だけでなく、
「問診」も重要だと再認識しました。
フォローカンファレンスで同僚とも共有しました。

この症例だけに限らず、
すべての症例に共通する大切なことを学びました。

Action

ギャップに気づく

行動変容へ

自己評価

他者からの
評価

STEP 3

STEP 2

この一連の成長過程を
私たちは一人一人支援します

PDCA Cycle

STEP 1

6 基礎力を養う5つの勉強会とカンファレンス

Weekly
研修医勉強会



救急カンファレンス



診断推論カンファレンス



感染症セミナー



ミクサップ
MKSAP勉強会



1～2回/月

診断推論カンファレンス

診断に至るまでのプロセスを重視します

名古屋から総合診療のスペシャリストをお招きする特別回も定期的にあります。

当院の症例を中心に提示し，直感だけに頼らず，論理立てて診療することを学びます．これを繰り返し診療力アップをはかります．

発熱＋紅斑＋多発関節痛→成人Still病

移動する頸部痛→バセドウ病

発熱＋頸部リンパ節腫脹→伝染性単核球症



毎週金曜日
7:30～8:00

Weekly 研修医勉強会

“今日から役に立つこと”がモットーです。

日常診療に生かせるテーマを中心に
持ち回りでレクチャーします。

教えることで、さらに知識が深まります。

カルテの書き方、血ガスの見方、ステロイドの使い方、
輸液について、咽頭痛の鑑別、腹痛症のみかた、
せん妄の対応、頭痛の鑑別、発熱の鑑別、造影剤腎症、
便秘症の治療、など



2～3か月ごと

救急カンファレンス

京都府立医科大学附属病院から
救急診療科部長をお招きしています。

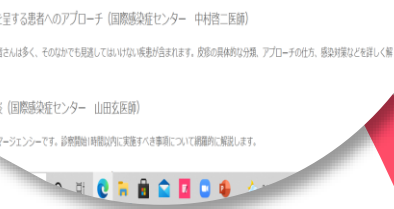
当院の症例の振り返りなどを通して
救急診療のピットフォールやポイントを
学びます。

単純CTで原因不明の腹痛→上腸間膜動脈解離

突然の両側下肢麻痺→急性脊髄硬膜外血腫

おさまらない嘔気嘔吐→胃軸捻転

レントゲンでの骨折の見つけ方、など



4

ミクサップ

MKSAP勉強会

効率よく知識のアップデート

毎週4問ずつその場で解きます。
もちろん上級医による解説付き。
英語が得意な人も苦手な人も大歓迎！

毎週水曜日
17:30~18:00



内科系領域のサブスペシャリティを網羅した
自主学習のための教材です。世界中で標準的
な生涯学習教材として活用されています。

Q&Aは合計約1200問掲載

1回/月

感染症セミナー

研修医の間に身につけるべき
感染症マネジメントを学ぶ

国立国際医療研究センター病院の
e-learningシステムとレクチャーを
併用し、必要な知識を得ます。

カテーテル関連血流感染症、粟粒結核、HIV感染症
風疹、アメーバ性肝膿瘍、血液培養の考え方、
COVID-19の検査、方法、注意点、など
今知っておくべきことも盛り込んでいます。



4月 2021 年

●4月16日
第45回内科診断カンファレンス

血便、腹痛を主訴に来院した症例。問診の重要性、SQの有用性について勉強しました。診断推論概論のレクチャーもありました。

●4月23日
感染症セミナー

国立国際医療研究センターが提供しているセミナーを視聴してカテーテル関連血流感染症について勉強しました。

●4月30日
CVC・PICC研修会

シミュレーターを用いてエコーガイド下の挿入手技を練習しました。研修医の行う手技の中でも危険性の高い手技ですので真剣に練習しました。

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	01	02 ・W勉強会	03
04	05	06	07	08	09 ・W勉強会	10
11	12	13	14 ・MKSAP勉強会	15	16 ・W勉強会 ・第45回内科診断カンファ	17
18	19	20	21 ・MKSAP勉強会	22	23 ・W勉強会 ・感染症セミナー	24
25	26 ・個別オンライン説明会	27	28 ・MKSAP勉強会 ・個別オンライン説明会	29	30 ・W勉強会 ・CVC・PICC研修会①	01
02	03	04	05	06	07	08

病院ホームページ「採用情報」↓「臨床研修医」
勉強会やカンファレンスの情報を掲載しています。

01

ハンズオン実習



中心静脈カテーテルの練習

02

自己学習ツール



Up To Date, 医中誌への
無料アクセス

研修医向け雑誌やDVD
などの自己学習用教材

03

学会発表

内科学会近畿地方会は
研修医の登竜門

第204回近畿外科学会
優秀演題賞



研修医2年目 阿部先生



JCEP認定病院

当院は臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行う評価機関（JCEP：NPO法人卒後臨床研修評価機構）による外部評価で認定基準を達成していると認定されています。



当直

上級医の指導を受けながら、少しずつできることを増やしていく

問診

身体診察

検査の判断

診断

方針決定

患者説明

- 救急室での診療が中心で、上級医と一緒に、報告と相談を繰り返しながら診療を行います。
- 当直は日直もあわせて月に4～5回です。
- 当直翌日の勤務形態は半日勤務が可能です。

“General mindをもったSpecialist”

当院と一緒に目指しませんか？

現在病院見学を中止していますが、
上級医と研修医が一緒に行う
個別オンライン説明会を随時
行っていますので、ご希望の方は
当院までご連絡ください。

申込先はこちらまで。

総務課人事係 人事課担当 西川舞
soumu@kyoto-chubumedc.or.jp

2020年度募集要項（参考）

募集人数 5名

選考方法 面接，小論文

今年度の選考日程は決まり次第、

HPに掲載します。

臨床研修紹介の動画（2021.3 ver）

も是非ご覧くださいね！